



松村祝男教授近影

## 松村祝男先生の追悼にあたって

日本大学経済学部長 小 椰 治 宣

松村祝男先生は、昭和62年4月に本学部の助教授に採用されて以来、70歳をお迎えになる平成24年1月までのおよそ26年間、本学の専任教員としてご尽力を賜りました。長い間本当にありがとうございました。「ありがとうございました」という言葉より「お疲れ様でした」と申し上げた方が適切かもしれません。それは、定年前の1年半余りは、病魔と闘いながら教育・研究・校務にあたっておられたからです。そして、定年直後の3月に突然の訃報が届いた時には、驚きと悲しみを禁じ得ませんでした。ここに松村祝男先生のご逝去にあたり、心より追悼の意を表します。

改めて、松村先生の経歴と職歴について簡単にご紹介します。松村先生は、昭和18年、静岡県のお生まれ。地元の県立高校をご卒業後、昭和36年4月に日本大学文理学部地理学科に入学、そして昭和40年3月に同学科を卒業されました。昭和41年4月に日本大学大学院理工学研究科修士課程に進学され、43年3月に同研究科を修了されると同時に博士課程に進まれ、46年3月に同課程を退学されました。昭和46年4月より千葉商科大学で非常勤講師を、また昭和47年からは千葉短期大学の非常勤講師を務められた後、昭和48年に千葉商科大学専任講師として採用されました。また、千葉商科大学助教授の傍ら、明治大学非常勤講師、日本女子大学非常勤講師なども兼務されていましたが、昭和56年4月からは、熊本大学に助教授として赴任されました。6年ほどの熊本生活の後、昭和62年4月に本学の助教授として着任され、翌63年4月に教授に昇格されました。

松村先生は、たいへん誠実で、明朗でいつも笑顔が絶えませんでした。松村先生には、学部では、経済地理学、都市・農村システム論、専門研究(一)(二)、卒業論文、基礎研究を、また大学院では特殊講義I(地場産業の研究)をご担当して頂きました。松村先生は本学の出身者ということもあり、学生に愛情を注ぐ一方、たいへん篤く、また凛とした姿勢で講義されていました。

また、教育活動の傍ら、日本地理学会、日本国際地理学会、歴史地理学会、経済地理学会、東北地理学会、歴史人類学会、人文地理学会、日本農業経営学会、日本地理教育学会、政治経済学・経済史学会などに所属され、代議員や評議員なども務められていました。このような多くの学会に所属され、日本の農業問題、地場産業の研究、とりわけみかんの栽培を中心とした研究成果を数多く発表されています。

学内での行政活動では、松村先生にはたいへんお世話になりました。松村先生は、教育・研究でご多忙にも拘わらず、いやな顔を一つせず、多くの校務をお引き受け下さいました。在職期間中、国際交流委員会副委員長、学生生活委員会副委員長、研究委員会委員長、国家試験対策委員会委員長、入試管理委員会委員長、企画委員会委員長、オープンキャンパス実行委員会委員長、広報委員会委員長、図書館長、人事委員会委員長などを歴任されました。その他、臨時的な委員会の長も含めると、枚挙に遑がありません。また、学部内だけではなく、日本大学評議員や教育制度研究所長としてご尽力を頂き、本学の発展に大きく貢献されました。

松村先生には、定年後は非常勤講師としてまだまだ学生の教育にあたって頂きたかったのですが、本当に残念でなりません。最後に、松村先生のご冥福を心よりお祈り申し上げて、追悼の辞といたします。

## 略 歴

まつ むら のり お  
松 村 祝 男

生年月日 昭和18年1月2日

本籍地 静岡県静岡市清水区新富町566番地11号

現住所 千葉県千葉市緑区越智町1701番地183号

## 学 歴

昭和36年3月31日 静岡県立清水東高等学校卒業  
昭和40年3月31日 日本大学文理学部地理学科卒業  
昭和43年3月31日 日本大学大学院理工学研究科地理学専攻修士課程終了  
昭和46年3月31日 同上 博士課程退学  
昭和54年3月16日 理学博士（日本大学）

## 職 歴

昭和48年4月1日 千葉商科大学商経学部専任講師（昭和50年3月31日まで）  
昭和50年4月1日 同上 助教授（昭和56年3月31日まで）  
昭和62年4月1日 日本大学経済学部助教授（昭和63年3月31日まで）  
昭和63年4月1日 同上 教授（平成24年1月1日まで）  
  
平成6年4月1日 日本大学経済学部研究委員会委員長（平成7年3月31日まで）  
平成7年4月1日 同上 国家試験対策委員会委員長（平成9年3月31日まで）  
平成7年4月1日 日本大学大学院経済学研究科分科委員会委員（平成24年1月1日まで）  
平成9年4月1日 日本大学経済学部入試管理委員会委員長（平成10年3月31日まで）  
平成11年4月1日 同上 企画委員会委員長（平成14年6月12日まで）  
平成13年4月1日 同上 オープンキャンパス実行委員会委員長（平成14年6月12日まで）  
平成15年4月1日 同上 広報委員会委員長（平成16年3月31日まで）  
平成17年4月1日 同上 企画委員会委員長（平成18年3月31日まで）  
平成19年4月1日 同上 図書館長（平成21年3月31日まで）  
平成20年9月10日 日本大学評議員（平成23年9月9日まで）  
平成21年4月1日 日本大学教育制度研究所長（平成23年3月31日まで）  
平成22年4月1日 日本大学経済学部人事委員会委員長（平成23年3月31日まで）

( iv )

(学会歴)

〈国内〉

昭和40年5月8日	日本地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和53年4月1日	日本地理学会会計専門委員 (昭和57年3月31日まで)
昭和63年4月1日	同上 (平成2年3月31日まで)
平成4年4月1日	日本地理学会編集専門委員 (平成6年3月31日まで)
平成6年4月1日	日本地理学会会計専門委員 (平成8年3月31日まで)
平成7年4月1日	日本地理学会選挙管理委員会委員長 (平成8年3月31日まで)
平成8年4月1日	日本地理学会企画専門委員 (平成10年3月31日まで)
平成10年4月1日	日本地理学会評議員 (平成14年3月31日まで)
平成14年4月1日	同上 (平成16年3月31日まで)
昭和42年2月28日	日本国際地図学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和42年4月1日	日本大学地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和46年4月1日	同上 評議員 (昭和58年3月31日まで)
昭和48年4月1日	同上 常任委員 (昭和56年3月31日まで)
昭和59年4月1日	同上 評議員 (平成13年3月31日まで)
昭和63年4月1日	同上 常任委員 (平成13年3月31日まで)
平成13年4月1日	同上 会計監査 (平成15年3月32日まで)
平成15年4月1日	同上 常任委員 (平成21年3月33日まで)
平成15年4月1日	同上 評議員 (平成21年3月34日まで)
平成21年4月1日	同上 会計監査 (平成24年3月29日まで)
昭和46年5月1日	歴史地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和49年4月1日	同上 常任委員 (昭和57年3月31日まで)
昭和51年4月1日	同上 評議員 (昭和59年3月31日まで)
昭和63年4月1日	歴史地理学会常任委員 (平成5年3月31日まで)
昭和63年4月1日	同上 評議員 (平成20年3月31日まで)
平成8年4月1日	同上 常任委員 (平成14年3月31日まで)
平成17年4月1日	同上 常任委員長 (平成20年3月31日まで)
平成20年4月1日	同上 会長 (平成23年3月31日まで)
昭和48年4月4日	経済地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和54年4月1日	東北地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和55年10月1日	歴史人類学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和57年7月24日	人文地理学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和59年5月1日	日本農業経営学会会員 (平成24年3月29日まで)
昭和60年4月1日	日本地理教育学会会員 (平成24年3月29日まで)

平成12年10月1日 政治経済学・経済史学会会員（平成24年3月29日まで）

（その他の活動）

平成12年9月20日 日本学術会議人文地理学研究連絡委員会委員（平成15年9月19日まで）  
内閣総理大臣任命

主要研究業績

著書，学術論文の題名 〔著書〕（単著）	発表雑誌・発行所	発行・発表年月日
多摩市文化財調査資料—石仏篇— 地域の近代化と果樹作の展開	多摩市教育委員会 多賀出版	昭和51年3月31日 昭和52年6月30日
みかん栽培地域—その拡大の社会的意 義—	古今書院	昭和55年4月15日
果樹作と庶民と地域の近代化—河内み かん発達史—	龍溪書舎	平成19年3月20日
〔著書〕（共著）		
日本分県地図（世界原色百科辞典別 冊，共著）	小学館	昭和42年7月10日
用宗町誌（共著）	用宗町誌編集委員会	昭和46年8月24日
地理学実習ノート（共著）	大明堂	昭和49年4月7日
市川市の都市生活空間におけるコミュ ニティーのあり方について（共著）	千葉商科大学市川市コミュニティー調 査委員会	昭和52年12月25日
日本農業の地域構造（分担執筆）	大明堂	昭和53年5月11日
自然と人間のかかわり（分担執筆）	古今書院	昭和56年3月30日
日本の農業地域（分担執筆）	大明堂	昭和58年4月18日
経済地理学の成果と課題Ⅲ（分担執筆）	大明堂（経済地理学会編集）	昭和59年2月24日
村を活かす（分担共同執筆）	筑波書房	昭和60年10月8日
河内町史—柑橘・民俗篇—（分担執筆）	河内町（熊本県飽託郡）	昭和62年3月31日
西海道の景観と変貌（分担執筆）	古今書院（藤岡謙二郎監修）	昭和62年10月20日
地理学と社会（分担執筆 Ⅲ－4 産 地形成にかかわるいわゆる「組織」 について）	東京書籍（澤田 清編）	平成2年3月1日
河内町史—通史編下—（補論二 戦後 の柑橘）	河内町（熊本県飽託郡）	平成3年1月1日
現代中国農業の構造変貌（分担執筆）	九州大学出版会，第8章，畑作農業の 展開と灌漑水利—山東省農業と水利， 119～144	平成5年2月28日

(vi)

玉東町史一通史編一(分担執筆 玉東町柑橘小史)	熊本県玉名郡玉東町	平成7年2月
水土を拓いた人びと(分担執筆)	「水土を拓いた人びと」編集委員会・社団法人農業土木学会編集, 農村文化協会刊, 分担執筆部分: 農業土木関連のことば「士族授産事業」425p, 所収成文堂, I章3節(pp.23~37), X章(pp.227~250)	平成11年8月5日 平成20年3月31日
〔学術論文〕(単著)		
農業的土地利用研究における地図縮尺空中写真利用による地理的現象の把握方法について	『地図』第5巻, 2号 『地図』第7巻, 4号	昭和42年6月30日 昭和44年12月31日
静岡県引佐郡下のみかん栽培 秋田県大潟村における農業問題の一側面	『人文地理』第22巻, 5, 6号 『地理誌叢』14号	昭和45年12月28日 昭和48年3月25日
静岡県用宗地区のみかん栽培の展開要因に関する一考察	『人文地理』第25巻, 2号	昭和48年4月28日
藤枝市西方を中心としたみかん栽培の地域的展開について	『千葉商大論叢』第11巻, 3号-B	昭和49年2月20日
伊豆半島におけるみかん栽培の地域的展開について(I), (II)	『千葉商大論叢』第12巻, 2, 3号-B	昭和49年9月30日
日本資本主義経済の原蓄期における報徳社とみかん栽培の地域的展開の関連性について	日本大学地理学科50周年記念論文集所収	昭和50年11月30日
東伊豆稲取地区を中心としたみかん作の地域的展開と報徳社との関連性について	『千葉商大論叢』第14巻, 3号	昭和51年12月30日
庄内平野における士族授産事業の展開とその地域的機能に関する一考察	『歴史地理学紀要』19号	昭和52年3月31日
1960年以降におけるわが国の果樹産地動向に関する一考察	『創立50周年記念論文集』(千葉商大)所収	昭和52年11月1日
外国産果実の輸入動向と果樹産地に現れた変容の一側面について	『千葉商大論叢』第16巻, 4号	昭和54年3月31日
米の生産調整と外国産果実の輸入にともなう桜桃栽培地域の変容について	熊本大学『文学部論叢』8号	昭和57年7月20日
産業資本確立期を中心とした庄内松岡製糸所の地域的機能について	『歴史地理学紀要』25号	昭和58年3月31日

戦前とくに昭和恐慌後における熊本県河内町の柑橘栽培	熊本大学『文学部論叢』12号	昭和59年4月20日
熊本県における農事試験場柑橘試験地の設置経緯に関する若干の分析	『地域をめぐる自然と人間の接点』所収, 細井淳志郎先生退官記念事業会	昭和60年2月17日
明治前半期における熊本県河内町の柑橘栽培について	熊本大学『文学部論叢』16号	昭和60年4月20日
地域における農業投資効果の測定方法についての若干の吟味	『地理誌叢』第27巻, 1, 2号	昭和60年11月30日
熊本県河内町における「柑果満州出荷」について	熊本大学『文学部論叢』20号	昭和61年10月20日
自由化拡大情勢下のおうとう栽培地域の変容	日本農業経営学会『農業経営研究』第24号, 3号	昭和62年2月25日
民衆の記録した農業災害—熊本県河内町尾跡地区の事例—	『地理誌叢』第28巻, 2号	昭和62年3月31日
いわゆる「西日本B型産地」のみかん小作について	『地理誌叢』第30巻, 2号	平成1年3月31日
いわゆる「西日本B型産地」の形成要因についての若干の吟味—「市場対応」を中心として—	日本大学経済学研究会編『日本大学100周年記念論文集『現代経済の分析と課題』所収, 229~248, 有斐	平成1年10月4日
近世中・後期における柑橘の「商品化」過程と生産構造—熊本県河内町の事例—	『歴史地理学』第160号, PP21~42	平成4年9月10日
「園地再編対策」の展開過程に見る産地の政策対応について	山田安彦教授退官記念論文集記念会編『転換期に立つ地域の科学』所収, 160~168	平成5年3月31日
戦時下における農業政策と柑橘作の地域的展開について	『経済集志』第64巻, 3号(日本大学経済学部創設90周年記念論文集)	平成6年10月30日
農業基盤整備事業の効果予測にみられる地域的矛盾	『地理誌叢』第37巻, 2号, PP51~70	平成8年3月30日
戦時下における九州産柑橘類の大陸出荷について—熊本県河内村柑橘出荷組合を事例として—	『千葉商大紀要』第38巻, 第2・第3号合併号, pp.1~37	平成12年12月31日
米の生産調整における政策内容の変遷と長期化要因に関する若干の分析	『地理誌叢』第43巻, 1・2号合併号, pp.1~21	平成14年3月31日
近年わが国における香酸柑橘類の生産動向について—日園連編「果樹統計」等を資料として—	『地理誌叢』第45巻第2号, pp.22~37	平成16年3月24日

( viii )

- 「みかん園地再編対策」実施意向のわが国における柑橘類の生産動向について—とくに品種構成と生産空間の変容を中心として—  
『経済集志』第74巻第3号, pp.51～60 平成16年10月30日
- 近年の沖縄県における香酸柑橘類特産常緑果樹の生産動向について  
『地理誌叢』第47巻第1・2号, pp.28～45 平成17年12月28日
- 日本農業・農村の位置づけと地域情報の社会的意義  
『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』水島一雄編, 成文堂, I章 3節, pp.27～37 平成20年3月
- 物産果樹による地域農業振興(沖縄県大宜味村)  
『農業地域情報のアーカイブと地域づくり』水島一雄編, 成文堂, X章, pp.227～250 平成20年3月
- 最近10年間における歴史地理学研究と学会の動向について  
『歴史地理学』第50巻特別号 pp.30～35 平成20年4月29日
- わが国における果樹栽培地域の形成—創設期から発展期への変容を中心として—  
『歴史地理学』第52巻5号 平成22年12月
- 〔学術論文〕(共著)  
CHANGES IN FRUITS PRODUCTION IN JAPAN (共著)  
日本地理学会編“GEOGRAPHY OF JAPAN”, 所収 昭和55年8月31日
- 地域活性化に向けた農業地理情報のデジタルアーカイブの構築と課題(共著)  
『地理誌叢』第47巻第1・2号, pp.1～16 平成17年12月28日
- 〔学会報告等〕(単独)  
藤枝市西方のみかん栽培  
過疎状態と農業経営活動  
日本地理学会春季学術大会 昭和43年4月7日
- 空中写真利用による地理的現象の把握方法について  
日本地理学会春季学術大会 昭和44年4月27日
- 引佐郡三ケ日のみかん園化  
日本国際地図学会大会 昭和44年8月9日
- 明治初期臨海郊村における生産要因の変化要因について(共同発表)  
日本地理学会春季学術大会 昭和45年4月26日
- 旧用宗村の地租改正  
日本地理学会春季学術大会 昭和46年4月4日
- みかん作の地域的展開と報徳社との関連性について  
歴史地理学会第69回例会 昭和48年11月24日
- 稲取地区における報徳運動とみかん作果樹栽培地域の形成初期における東北地方の特色  
歴史地理学会第77回例会 昭和50年7月19日
- 歴史地理学会第82回例会 昭和51年7月10日
- 日本地理学会秋期学術大会シンポジウム 昭和51年10月10日



外国農産物の輸入動向と果樹栽培地域の変容	日本地理学会秋期学術大会	昭和53年10月2日
1960年代以降果樹生産地域に現れた品種、品目変動の一側面について	日本地理学会 7月例会	昭和54年7月14日
1930年代における果樹栽培の地域的拡大とその特質について	日本地理学会秋期学術大会	昭和54年10月10日
産業資本確立期を中心とした庄内松岡製糸所の地域的機能について	歴史地理学会第25回大会	昭和57年4月25日
1930年代における熊本県河内町のみかん栽培	日本地理学会春季学術大会	昭和58年4月2日
自由化拡大情勢下における桜桃栽培地域の变容	日本農業経営学会秋期大会シンポジウム	昭和61年10月15日
熊本郡中種子町における最近の農業動向	日本大学文理学部学術研究発表会	昭和62年11月27日
いわゆる西日本B型産地の形成要因についての若干の吟味	日本地理学会秋期学術大会	昭和63年9月28日
宝暦の検地帳にみるみかん作の生産構造	歴史地理学会第150回例会	平成3年1月19日
シンポジウム「国際化時代の地域の再編と対応」	日本地理学会秋期学術大会シンポジウム 総括コメンテーター	平成7年10月15日
日本農業の持続可能性を阻止する農業投資評価の実態	平成7年度日本大学地理学会秋期大会(文理学部学術研究発表会共催)	平成7年11月25日
戦時下におけるわが国柑橘栽培地域の政策対応に関する産地間比較	平成8年度日本大学地理学会秋期大会(文理学部学術研究発表会共催)	平成8年11月30日
「園地再編政策」の地域的顛末を通してみたいわゆる「農基法農政」の政策効果について	平成9年度日本大学地理学会秋期大会(文理学部学術研究発表会共催)	平成9年11月28日
米生産調整対策における対策内容の変遷と長期化要因に関する若干の分析	平成10年度日本大学地理学会秋期大会(文理学部学術研究発表会共催)	平成10年11月21日
一村における農地改革の展開実態—旧飽託郡河内村を事例として—	第42回 歴史地理学会大会	平成11年6月5日
戦時下における九州産柑橘類の大陸出荷について—熊本県河内村柑橘出荷組合を事例として—	平成12年度日本大学地理学会秋期大会(文理学部学術研究発表会共催)	平成12年12月2日
西南日本における柑橘産地のA・B区分に関わる海外出荷の実態について—特に「大陸出荷」の担い手を中心として—	歴史地理学会第193回例会(於 昭和女子大学)	平成13年12月1日

(x)

農地改革を通してみたみかん小作の動向について―旧飽託郡河内村の事例―	歴史地理学会第196回例会（於 日本女子大学）	平成14年10月12日
近年わが国における「香酸柑橘類」の栽培動向について	平成15年度日本大学地理学会秋期大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成15年11月29日
沖縄における伝統的香酸柑橘類シクワシャーの再評価と栽培実態について	平成16年度日本大学地理学会秋期大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成16年11月27日
圃場の既整備地区における集落営農による水稲直播栽培の地域的経済効果について―福島県大沼郡会津美里町大字高田（旧会津高田町）矢木沢地区を事例として―	平成18年度日本大学地理学会秋期大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成18年11月25日
移民送出村におけるもう一つの「農地改革」	平成19年度日本大学地理学会秋期大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成19年11月17日
果樹栽培地域における高齢化する生産者への産地対応	平成21年度日本大学地理学会秋期大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成21年11月21日
「教育の質の保障と向上のための制度と実践」のオーガナイザー	日本大学教育制度研究所主催ラウンドテーブル	平成21年11月28日
わが国における果樹栽培地域の形成―創設期から発展期への変容を中心として―	歴史地理学会第53回大会公開講演会、高崎シティーギャラリー・コアホール	平成22年 5 月14日
〔学会報告等〕（共同）		
ワークショップ「人文地理学の研究・教育体制について」（主催委員会幹事）	日本学術会議人文地理学研究連絡委員会（於 神戸大学瀧川記念学術交流会館）	平成13年11月 9 日
シンポジウム「人文地理学研究者の社会的貢献」	第18期日本学術会議人文地理学研究連絡委員会主催 シンポジウム オーガナイザー（司会担当）	平成14年11月15日
農山村地域情報のデジタルアーカイブ構築とその意義	平成17年度日本地理学会春期学術大会（於 青山学院大学）	平成17年 3 月28日
地域情報のデジタルアーカイブ構築と農業地域研究（共同発表）	平成17年度日本地理学会秋季学術大会（文理学部学術研究発表会共催）	平成17年10月15日
農山村地域情報のデジタルアーカイブの高度利用と地図・画像情報の活用（共同発表）	2005年人文地理学会大会（於 九州大学）	平成17年11月13日

デジタルアーカイブの歴史地理学研究への利用可能性—農業地域情報を中心として— (共同発表)	歴史地理学会第206回例会 (於 日本大学法学部)	平成17年12月17日
国際会議「文化景観と環境の歴史地理—歴史地理学の現在と未来—」の総括的オーガナイザー	歴史地理学会創設50周年記念国際会議 文化景観と環境の歴史地理—歴史地理学の現在と未来—	平成19年 9月 8日 ～ 9日
〔書評・報告書・その他〕		
書評 『芦屋市史』	『歴史地理学会報』 63号	昭和47年 3月 5日
書評 新井鎮久著『開発地域の農業地理学的研究』	『地理誌叢』 15号	昭和49年 3月25日
文献紹介 桑原公德著『地籍図』	『歴史学研究』 450号	昭和52年11月15日
落葉果樹の拡大—その前提は何か—	『農政九州』 151号	昭和58年 9月 5日
福岡県甘木・浮羽地域における落葉果樹の産地形成過程と市場対応について	九州農政局企画調整室『昭和57年度地域農業動向調査報告書』所収	昭和59年 4月30日
平坦水田地帯における水田利用再編対策への取組みと耕地高度利用の実態	九州農政局企画調整室『昭和56～58年度地域動態現地調査報告書』所収	昭和59年 4月30日
宮崎県西都市のスイートコーン複合経営の事例	九州農政局企画調整室『地域別優良農業経営成長要因分析調査報告書』所収	昭和60年 3月31日
新しい局面を創設する可能性を秘めた「自然休養村づくり」	九州自然休養村連絡協議会『都市&ふるさと』 1号, 所収	昭和60年 7月 1日
昭和60年度農業投資総合効果測定調査報告書	九州農政局計画部	昭和61年 3月31日
鹿児島県宮之城町におけるいちご栽培の台頭	『農政九州』 167, 168号	昭和61年 5月 5日
鹿児島県田代町地域農業構造改善事業 (自然活用型—地域利用) 基本構想報告書	財団法人農林漁業体験協会	昭和62年 3月31日
みかん主産地におけるキウイフルーツの拡大とその特質	九州農政局企画調整室『昭和59～61年度地域動態調査報告書』所収	昭和62年 7月31日
高原地域における畜産を中心とした地域農業の展開	九州農政局企画調整室『昭和59～61年度地域動態調査報告書』所収	昭和62年 7月31日
鹿児島県中種子町における花卉園芸	九州農政局企画調整室『地域別優良農業経営成長分析調査報告書』所収	昭和63年 3月31日
学会展望 (1987年 1月～12月)「第1次産業 農牧林業」	『人文地理』 第40巻, 3号, 40～44	昭和63年 6月28日
文献紹介 神田市場史続編刊行会編『神田市場史 結巻』	『歴史地理学』 第158号, 42～43	平成 4年 3月10日

( xii )

書評 内田和子著『近代日本の水害地域社会史』古今書院	『土地制度史学』第152号, 69~71	平成8年7月10日
文献紹介 江波戸昭『東京の地域研究(続)』大明堂	『歴史地理学』第196号(第41巻, 5号), pp.31~33	平成11年12月10日
処かわれば(随筆)	日本大学経済学部図書館報『ライブラリー』第18号, pp.3~4	平成12年12月1日
地域の「近代化」に果たした果樹作の役割について(随筆)	『桜門春秋』	平成9年8月
一寸の虫にも(随筆)	『桜門春秋』	平成15年12月
三崎町界限	日本大学経済学部図書館報『ライブラリー』第31号, pp.3~4	平成19年4月
当事者が記録した二つの移民の本	日本大学経済学部図書館報『ライブラリー』第33号, pp.3~4	平成20年4月